

2011 年度 韓国漢城大学校サマープログラム 9月5日～9月21日

札幌校 教員養成課程教育臨床専攻2年

忠岡文佳

1、はじめに

私は、9月5日～9月21日に渡って行われた、漢城大学校サマープログラムに参加してきました。韓国が好きで独学で韓国語を勉強しており、韓国への長期留学を考えていたため、その足掛かりとして行ってみたいと思ったのがきっかけです。本学からは全キャンパス合わせて5人が参加、漢城大学校の他の協定校である山口の大学から2人が参加の合計7人のプログラムで、現地では日本への留学を控えた2人の韓国人学生がチューターをしてくれました。

2、プログラムの内容

内容は大きく2つに分かれていました。ひとつは大学での授業、もうひとつはソウル内外の観光です。移動日・休日を抜かすと実質プログラム期間は8日間で、内5日間は授業と観光、3日間は丸一日観光でした。授業のある日は午前10時から12時までが授業で、午後は観光という形でした。

(1)授業

授業は、前半が韓国語で後半が一日ごとに「韓国、韓国語概要」「韓国の大衆文化」「韓国の政治経済」「変化する現代韓国社会」「言語意識と言語行動の日韓比較」という内容でした。授業を担当してくださったのは、漢城大学校教養教職学部日本語・日本地域専攻の土井美穂教授です。土井教授は日本で本を出版されていて、ソウル地下鉄の日本語アナウンスをなさっています。

韓国語の授業は、参加者の韓国語能力がばらばらだったため、一番初めの文字の段階から始まりました。私は読み書きができるため、物足りない内容でした。しかし、全く韓国語を勉強したことのない学生も安心して参加できます。

後半の授業は、量は少なくともこのプログラムの目玉だと思います。興味深い上、普通に旅行するだけでは得られない内容です。全体を通して印象に残ったのが、「韓国と日本は違う」ということです。違うことが悪いというのではなく、違いを知るのが面白かったし、きちんと違いを知ることが、日本と韓国がお互いに良い関係を築いていくために必要だと思いました。また、現在は韓流ブームにより日本と韓国の交流も盛んになっていますが、いまだに双方の歴史認識には差があり、根本的な部分ではまだ日本と韓国の間には溝があるそうです。その話を聞いて、互いに共通認識が得られ、本当の意味での日韓友好関係が早く築かれてほしいと思いました。

(2)観光

観光では実に様々な場所に連れて行っていただきました。国立故宫博物館、青瓦台(大統

領邸)、光化門広場(景福宮のいう宮の門のひとつ、光化門の前の広場。世宗大王の像がある)、DMZ(38度線から南北にそれぞれ2kmの非武装地帯)、梨泰院(外国人街)、明洞(渋谷のような街)、仁寺洞(骨董品街)、南山公園(ソウルタワーのある公園)、韓屋村(伝統的な家を表示している所)、韓国プロ野球観戦、ロッテワールド(複合施設。ディズニーランドのような遊園地がある)、昌徳宮(王の別荘のような宮)、漢江クルーズ、ナンタ鑑賞(韓国の伝統芸能サムルノリを現代風にアレンジしたショー)、利川市(陶芸の有名な地域)に行きました。



青瓦台の前で



漢江クルーズ

3、休日の過ごし方

今回は韓国のお盆である秋夕(チュソク)が重なったため、期間中6日間も休みがありました。私は、明洞、仁寺洞、北村(韓屋が多く残る)、ソウル駅、景福宮、広蔵市場(食料品や日用品など何でもそろう巨大市場)、大学路(かつてソウル大のあった、若者の街)、バンディ&ルニス(書店)、永豊文庫(書店)に行きました。今まで勉強してきた韓国語の実践の場でした。私はある程度話せるけど聞き取れないので、コミュニケーションをとるのが大変でしたが、それでも必死で会話をして買い物をしたのがとても良い経験になりました。大学のプログラムでの観光と休日の自分での観光を合わせれば、ソウルの定番観光スポットはほぼ回れると思います。

ソウルは地下鉄が張り巡らされており、地下鉄を乗りこなせば一人でどこへでも行くことができます。乗りこなすのは全く難しくありません。乗車料金はチャージ式のプリペイドカードで払うのが一般的で、アナウンスは日本語があります。



広蔵市場



地下鉄駅

4、寮

教育大の寮のようなところを想像していましたが、今回滞在したのは漢城大学の外国

人教師用のゲストハウスで、アパートのようなところでした。漢城大学校の寮は別にありました。ゲストハウスは大学から徒歩 20 分くらいの場所にあり、2 人部屋で、ガス・キッチン・ユニットバス・冷蔵庫・ベッド・クローゼットがあり、室内は冷暖房完備で快適に過ごせました。インターネットは LAN ケーブルを持っていれば使えそうでした。無線もあるようですが、パスワードが分からず使えませんでした。すぐ近くにコンビニがあり、大変お世話になりました。また少し歩けば明洞に似た繁華街もあります。

5、最後に

漢城大学校にとっては、日本人のためのプログラムは初めてということでかなり手探りの状態でしたが、私たちのためにとてもよくしてくださり、終わりには修了証書と螺鈿の入った木箱を記念品に下さいました。17 日間で、韓国を多様な角度から見ることができました。韓国に興味があったら、不安がらずにぜひ参加することをお勧めします。そして、ほんの少しの勇気を持って外に出てみることで、得られた経験が自信へとつながります。

最後になりましたが、このプログラムに参加するにあたって、関係者の方々にご迷惑をおかけしてしまった点もありお詫び申し上げますとともに、協力してくださった全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。